

第 33 号

あ〜す・れっく

= 日 資 連 界 報 =

日本再生資源事業協同組合連合会
〒102-0076 千代田区五番町 12-6
TEL 03 (3263) 9101
発行人 倉林 喜一郎
編集人 星 本 昭 次
印刷 株式会社資源新報社

日資連全国大会盛大に 倉林「本省(原)認可の実現に注力」

日本再生資源事業協同組合連合会(倉林喜一郎会長)の第三十二回大会が六月十三日、熱海温泉「南明ホテル」を会場に開催された。

最後に、今大会を総括して設置担当の神奈川県組合より大会決議が披露され、定刻に閉会となった。

循環型社会を築く ビジネス支援のあり方

国友 宏俊氏



講演する国友室長

となるなかで、さきごろ、産構審環境部会産業と環境小委員会の中間報告「環境立国宣言」が公表された。

その中で、環境立国として地球環境保全に配慮した経済社会を構築するに、経済を構成する行政、企業、消費者等あらゆる主体が環境問題の本質を認識し、行動していくことが必要であるとしている。

プロジェクト——Nに期待

日資連会長 倉林 喜一郎



古紙がつかない良好な市況で推移しており、鉄くずについても短期的には若干の価格変動が見られるものの古紙と同様、市況的には厳しい状況を脱しつつあるようです。

私が会長職を拝命した当初から見て、比較にならないほど市況面では我々業界にフォロワーの風が吹いているという印象がある。一方で、我々日資連がかねてより懸案としてきた本省(原)認可、組織拡充、財政改革の三点については特段の成果を報告できないまま今日を迎えている。

しかしながら、これら諸問題を解決するため昨年、立ち上げたシステムプランニング委員会、同委員会が得られた課題を移行段階に移すためのプロジェクトNなど、目指すべき方向性について徐々にあるが着実に前進していることは皆さんに報告できます。

各単協、組合員各位には今後とも日資連運営にご理解、ご協力を願いたい。

が、これらの取り組みに対して国として行うべき支援のあり方について提言を求めると、昨年十月、同委員会「地域循環型ビジネス専門委員会」が設置された。地域循環型ビジネスの創出・育成に関する国の支援のあり方について、さきごろその結果がまとめられている。

リサイクル目標等が示されるなど、ごみ減、リサイクルへの国の方向性と各主体の課題が明確に示された。

一方、これらの動きのなかで各リサイクル法の対象となった業種・業界は従来のビジネスモデルや制度、商習慣の見直しを求められ、製造・流通・消費・廃棄(再資源化)および処理の各段階でのごみ減、リサイクルの取り組みが進められてきた。同時に、地域社会において、関係者の取り組みへの

大会宣言

社会的な環境・リサイクル意識の浸透と新規リサイクル市場の拡大など、我々資源回収業界にとって明るい流れとされている。しかしながら、明らかに光だけでなく異業種の参入と環境保護を目的とした法整備など我々の思いが届いていない現状が垣間見られる。再資源化のプロを自認している我々はリサイクル社会構築の担い手として活躍できる場を見失い、何処へ向かうのか、何が出来たのか先の見えない霧の中に居るようだ。

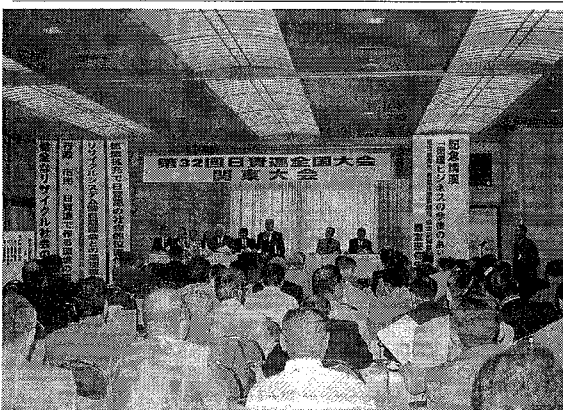
しかし社会的な位置づけや活動指針、組織拡充の必要性等の問題解決のためにプロジェクトNが結成され、その意欲的な活動により解決の道筋が明らかにされています。これから我々はさらに深く連携を強め、また再生資源業界の役割・ノウハウを生かしたリサイクル事業を積極的にアピールする為にリサイクル化証明書を活用し本省認可取得に向けた取り組みに邁進して行かねばならない。

今後私たちが日資連の活動が、市民・行政と共に活力に満ちた資源循環型社会を早期に創出することを誓い、大会決議の宣言とする。

平成十六年六月十三日

神奈川県資源回収商業協同組合

青年部部長 魚地 浩司



誘導や情報の把握および公開、国の循環型ビジネス支援策の地方自治体への政策移転等の取り組みが求められた。

▽今後の地域循環型ビジネスのあり方

動脈産業での循環型ビジネスの展開や地域でのさまざまな主体による取り組み、自治体の循環型ビジネス育成への取り組みをさまざまな環境型ビジネスが創出されている状況にあって、これらビジネスの自立的発展の阻害要因とされた課題に対応し、持続可能なビジネスモデルを地域で構築する環境整備という観点から国の役割が重要となる。

現行の循環型ビジネスの課題として、原料廃棄物の調達の安定性やビジネスそのものの経済性、地域の理解の醸成、地方自治体の環境規制などの連携が指摘されている。これに対して課題解決に向けての協力・連携の動きとしては、①原料調達上の量的・質的安定性の確保②自治体による支援策の充実③リサイクル製品の需要拡大等いわゆる出口対策④市民の啓蒙・教育の充実⑤地域活性化等諸課題や他政策との連携⑥環境政策の整備等が不可欠となる。

さらに、国においても産業・環境政策の部分で、3R型経済システムへの誘導や地域資源を活用した循環型ビジネス構築への支援、関連制度の見直し、静脈物流に関する統計の整備や情報公開といった取り組みが求められる。加えて、支援策の管理・運営については第三者機関による政策評価の徹底や公募制度の導入、制度の管理・運用に関する情報公開の徹底などの対応が求められることとなる。

本省認可に向け前進期

日資連が第32回通常総会を開催

日資連の第三十二通常総会が去る五月十五日(土)正午より、千代田区霞ヶ関の霞山会館で開催された。

定刻、高岡和敏・佐藤政也両氏の司会によりより開会、初めに通常総会では定足数を満たしたことに より有効に成立する旨が報告された。議事に先立ち、また、倉林喜一郎会長が執行部を代表して挨拶した。

議長は片岡繁氏を、若月順一氏を副議長に選出、議案の審議に入った。

第一号議案 平成十五年度決算関係書類承認の件

現在、日本国内には約二十億トンの資源が投入



講演する経済産業省・井内摂男リサイクル推進課長

3R政策の現状と課題

経済産業省産業技術環境局
リサイクル推進課長 井内摂男氏

以下は冊子「3R政策の現状と課題」に沿ったもので、井内氏の講演内容を抜粋したものです。

【我が国の廃棄物リサイクルの現状】

現在、日本国内には約二十億トンの資源が投入

【我が国のリサイクル法制の現状】

今日のように経済が発展した日本では、人件費も高く、低価格な新製品などにより再生品がマーケットにふりまわっています。現状があります。そしてそれを、いろいろな法制

した。

全国大会開催支部長の萩原右一が閉会を宣言、散会となった。

引き続き、第二部として、経済産業省 産業技術環境局 リサイクル推進課長の井内摂男氏を講師に「3R政策の現状と課題」と題して記念講演が行われた。

なお、講演の内容は別掲の通り。

排出するような責務を課したりしています。

また、最終的に適正な廃棄物の処理法を決めているラフサイクルでは、下流の情報が上流に反映しやすくなっているというので、例えば、家電リサ

【アジア大の資源循環】

以前、日本は、アメリカから古紙を輸入していたが、中国や香港向け等へと大輸出へと変わった。この二つの柱が考え方の背景になっています。

最近、中国では、過剰なプラスチックの輸入による環境汚染の恐れから、輸入をストップするという動きがでています。

これは、価格や人件費が安いアジア諸国でリサイクルをするという経済

イクル法により、リサイクルしやすいテレビの設計など、そうした形での上流に情報がフィードバックされるようなサイクルを重視したいと思っています。

拡大生産者責任(EPR)とは、元々、地方自治体で、物理的や金銭的にも負担していた処理責任を生産者の責任に課するという政策アプローチです。

生産者というメーカーをイメージしますが、(EPR)の考え方は、製品の材料選択は、リサイクルしやすいものや軽量なものなどといった材質の選択や設計のコントロールができる制約可能性を有する者が生産者であると考えています。

例えば、飲料容器では、素材や容器メーカーよりも、生産者は、まず飲料メーカーを考えるといたことです。

EUの中で、ドイツの包装容器令やフランスの包装廃棄物法令といった法律に相当するものが、EGU全体の指令として出来たということ、同年、ドイツでは、日本の廃棄物処理法と資源有効利用促進法を合わせたような統一した法律が施行された。日本では、再生資源利用促進法(リサイクル法)、二〇〇〇年には3R法(資源利用促進法)に拡充され、容器包装や家電リサイクル法が順次、施行され、昨年、EUでは、廃電気・電子機器指令と、今、各国が法律を作り始めています。

こうして、日本とEUが、追いつ追われつとしてきています。通常、日米欧との比較をしますが、アメリカでは、各州でのリサイクル法や連邦レベルでの訓示的な法律はありますが、国レベル

利用し、海外へ出しているといったクローズドな循環がアジアンスケールで可能な場合もあるかと思えます。

また、海外で日本企業が廃棄物を適正な処理やリサイクルをしたという場合、日系や外資系が排プラの輸入を止めたこと、国内に余剰したリサイクル企業に投資をするとか、長期的には、現地の企業を育てていくという方法もあるかと思えます。

そうした日本国内だけでなく、海外も含めた経済活動に対応した適正なリサイクル処理と廃棄物処理をしていくことが、

段ボールのリサイクルは次世代の環境作り!!

循環型社会に最適な包装資材として今後ともリサイクルの推進・向上に努めます。

段ボールリサイクル協議会

リサイクルシンボルの普及促進中!!

資料問い合わせは事務局へ
詳細については日本段ボール工業会のホームページ
(<http://www.jcca.gr.jp>)で閲覧できます

東京都中央区銀座3-9-11 紙パルプ会館
(日本段ボール工業会内)
TEL03-3248-4851 FAX03-5550-2101

【3R推進の課題】

これから環境付加を提言して、最小の費用で、3R推進の実現をしていくべきか。

この兼ね合いは、それぞれの製品ごと、その実態に応じたコストや役割の分担といったものをルール化していくことが最大のポイントであると思えます。

企業競争力の源泉である環境を売りにしているような家電メーカーや自動車メーカーでも、省エネによるコストダウンや燃費といった、直接消費者へ意識を高めるような製品作りはまだまだ難しいようです。

その辺りの意識をどう高めていくべきなのが、

これから環境付加を提言して、最小の費用で、3R推進の実現をしていくべきか。

この兼ね合いは、それぞれの製品ごと、その実態に応じたコストや役割の分担といったものをルール化していくことが最大のポイントであると思えます。

企業競争力の源泉である環境を売りにしているような家電メーカーや自動車メーカーでも、省エネによるコストダウンや燃費といった、直接消費者へ意識を高めるような製品作りはまだまだ難しいようです。

その辺りの意識をどう高めていくべきなのが、

プロジェクトNが本格始動

諸課題解決に活発な取り組みで

左記は今年六月に行われた全国大会で配られた資料です。

あり、様々な角度から日
資連ホームページ、アー
スレックの活用を考えて

巨資連では、プロジェクト・Nからの提言を受け、組合情報伝達の迅速化、本署認可（原局認可）の取得、自主認定制度の
お持ちの方はホームページにアクセスしてみてください。

確立の三項目が二つのグループにより動き始めました。	組合情報伝達の迅速化とは、今まで閉塞的であった日資連と各組合員に直接パイプを持ち、情報公開を行おうという試みで	本省認可では、経済産業省の要請を受け組合員の扱い品目、品目ごとの扱い品目、事業の規模、従業員数などについて調査を始めました。	大変重要な調査になりますので、早急に回答
----------------------------------	--	---	-----------------------------

提出してください(調査票は四ページ参照)。

自主認定制度の確立では、初めにリサイクル化証明書発行資格者認定制度に向けて調査研究が急務

また、このグループで

は以下、認定制度問題に取り組んでいます。

- ①リサイクル化証明書発行資格者認定
- ②リサイクル化証明書発行資格事業所認定
- ③優良事業者認定（収集）
- ④優良事業者認定（加工）

⑤優良排出事業者認定
⑥再生資源技術者認定
(収集)
⑦再生資源技術者認定
(加工)

組合であり、皆さんの協力、助言なしでは改革できません。
これからも皆さんの協力を切にお願いします

五月十五日	青年部 部長会	霞山会館
〃	青年部総会	霞山会館

	三十一日	〃	民主党バレーデー	霞山公会館 ロニーオウ二
	十八日	〃	浜田幸一郎先生出版記念会	東京會舘
	二十四日	〃	プロジェクト・N・チ人々	東寶協
	二十五日	〃	こみじロ会議 監査	日資連事務所
	〃	〃	抜取問題対策協議会	関東商組
	〃	〃	経産省との会合	経産省
	二十八日	〃	こみじロ会議 理事會 総會	總評會公館
	二十九日	〃	古紙ネット 総會	新潟城(タカ)

日資連全国大会 参加組合員各位

プロジェクト-Nからのご協力をお願い

日資連プロジェクト-Nは、下記3項目を重点的に実施し組織改革を行います。
つきましては、組合員各位の絶大なるご協力をお願いします。

■組合情報伝達の迅速化

- ・ホームページ上で情報を公開し、情報伝達の迅速化・共有化を推進します。
- ・情報網を再構築し情報伝達の徹底を図ります。

日資連の HP アドレスは、<http://www.nisshiren.com/>

(組合員専用ページのパスワードは日資連事務局にお問合わせください。)

■本省認可（原局認可）の取得

- ・経済産業省の本省認可（原局認可）実現に向け、認可取得に必要な各県1組合以上の登録に向け、新規勧誘のご協力をお願いします。

■自主認定制度の確立（財政の健全化）

- ・経済産業省始動のもと、「リサイクル化証明書発行資格者認定」制度（2005年4月実施予定）をはじめ、業界の社会的地位確立のための諸認定制度を創設し、併せて組合い財政の健全化を図ります。

平成16年6月13日

プロジェクト-Nリーダー 紺野武郎

活動 取組みで		⑧ 日資連登録ナンバー制度 ⑨ 廃棄物再生事業者登録に変わる、回収業界の再生事業者登録制度
⑤ 優良排出事業者認定 ⑥ 再生資源技術者認定(収集) ⑦ 再生資源技術者認定(加工)	日資連は組合員皆様の組合であり、皆さんの協力、助言なしでは改革できません。 これからも皆さんの協力を切にお願い致します。	
最近の主な行事		
五月十日	青年部 部長会	霞山会館
"	青年部総会	霞山会館
"	第三十二回通常総会	霞山会館
十八日	民主党パーティー	H3コオパニ
"	浜田県 県庁出版記念会	東京會館
二十四日	プロジェクトチーム	東京協
二十五日	こみせり会協議 監査	日資連事務所
"	抜取問題対策協議会	関東商組
"	経産省との会合	経産省
二十八日	こみせり会 理事会 総会	総評会館
二十九日	古紙ネット 総会	新橋駅ビタラ
三十日	日資連青年部交流会	横浜市 鶴沼海岸
三十一日	プロジェクトチーム	日資連事務所
六月一日	青年部 部長会	日資連事務所
三日	回収鉄源利用促進協議会	鉄鋼会館
七日	プロジェクトチーム	東資協
十一日	日本鉄源協会 総会 理事会	鉄鋼会館
十二日	プロジェクトチーム	日資連事務所
十三日	全国大会	熱海 南明H
十五日	日資連 関資連金属委員会	日資連事務所
十七日	クリンシャバC 理事会	虎門パサル
十九日	プロジェクトチーム	日資連事務所
二十二日	抜取問題対策協議会	関東商組
二十五日	古紙循環プロジェクト	日資連事務所
七月一日	全国中央会の懇談会	全国中央会
六日	関資連 抜取りの対策会議	日資連事務所
"	プロジェクトチーム	日資連事務所
八日	3R協議会 総会	虎門パサル
十日	プロジェクトチーム	日資連事務所
"	プロジェクトチーム	日資連事務所
十五日	事業推進委員会	日資連事務所
"	日資連 関資連金属委員会	日資連事務所
十七日	理事会	日資連事務所
"	プロジェクトチーム	日資連事務所
二十三日	青年部 部長会	新大阪
二十四日	関資連 理事会	日資連事務所
"	プロジェクトチーム	日資連事務所
"	プロジェクトチーム	日資連事務所
八月三日	青年部 部長会	日資連事務所
七日	プロジェクトチーム	日資連事務所
九月十日	古紙循環プロジェクト	全原連

平成 16 年 6 月 15 日調査

日資連七二夕一集計表

基準は問屋持込販売価格(円/kg)

№	組名	H 2 (特級)	発生	鉄干地 (二級)	発生	スチール缶 プレス	発生	スチール缶 バラ	発生	アルミ缶 プレス	発生	アルミ缶 バラ	発生	光特号 (銅)	発生	新聞	発生	雑誌	発生	段ボール	発生	込バ口	発生
1	柳木	高値 13.0 安値 12.0	不変	高値 3.0 安値 0.0	不変	高値 11.0 安値 10.0	不変	高値 0.0 安値 ▲5.0	不変	高値 115.0 安値 110.0	不変	高値 95.0 安値 80.0	不変	高値 310.0 安値 300.0	減	高値 8.0 安値 7.0	不変	高値 4.5 安値 4.0	不変	高値 7.0 安値 6.0	不変	高値 安値	
2	群馬	高値 14.0 安値 12.0		高値 6.0 安値 5.0		高値 10.0 安値 8.0		高値 5.5 安値 4.0		高値 110.0 安値 100.0		高値 90.0 安値 80.0		高値 260.0 安値		高値 6.0 安値 5.0		高値 4.0 安値 3.0		高値 7.0 安値 5.5		高値 安値	
3	埼玉	高値 15.0 安値 12.0		高値 8.0 安値 6.0		高値 安値		高値 安値 0.0		高値 安値		高値 90.0 安値 60.0		高値 270.0 安値 250.0	減	高値 6.0 安値 5.0	不変	高値 3.0 安値 2.0	増	高値 5.0 安値 4.0	不変	高値 安値	2.0 増
4	千葉	高値 12.0 安値 10.0	減	高値 7.0 安値 5.0	減	高値 10.0 安値 8.0	減	高値 3.0 安値 0.0	減	高値 100.0 安値 80.0	減	高値 60.0 安値 50.0	減	高値 230.0 安値 200.0	減	高値 7.0 安値 5.5	減	高値 5.0 安値 3.5	減	高値 6.5 安値 5.5	減	高値 安値 0.0	2.0 減
5	東京	高値 13.0 安値 9.0		高値 2.0 安値 0.0		高値 8.0 安値 2.0		高値 安値		高値 80.0 安値 70.0		高値 50.0 安値 40.0		高値 210.0 安値 180.0		高値 8.5 安値 4.0	減	高値 5.5 安値 2.0	減	高値 9.5 安値 3.5	減	高値 安値 0.0	5.0 0.0
6	神奈川	高値 15.0 安値 12.0	不変	高値 4.0 安値 0.0	不変	高値 8.0 安値 4.0	不変	高値 3.0 安値 0.0	不変	高値 105.0 安値 100.0	不変	高値 93.0 安値 85.0	不変	高値 300.0 安値 270.0	減	高値 6.0 安値 5.0	不変	高値 3.5 安値 3.0	不変	高値 6.0 安値 4.0	減	高値 安値 0.0	1.0 0.0
7	富山	高値 安値 8.0	減	高値 安値 3.0	減	高値 安値 6.0	不変	高値 安値 0.0	不変	高値 安値 60.0	不変	高値 安値 20.0	不変	高値 安値 180.0	減	高値 安値 4.0	減	高値 安値 2.0	減	高値 安値 4.0	減	高値 安値	
8	岐阜	高値 安値		高値 安値		高値 17.4 安値	不変	高値 安値		高値 107.0 安値	減	高値 安値		高値 安値		高値 4.0 安値 3.0	不変	高値 3.0 安値 0.5	増	高値 6.0 安値 3.0	減	高値 安値 ▲2.0	0.0 2.0
9	静岡	高値 10.0 安値 8.0	不変	高値 4.0 安値 2.0	不変	高値 安値		高値 4.0 安値 2.0	不変	高値 98.0 安値 85.0	不変	高値 65.0 安値 50.0	不変	高値 278.0 安値 265.0	減	高値 5.0 安値 4.0	減	高値 3.0 安値 2.0	減	高値 5.5 安値 4.0	不変	高値 安値 0.0	2.0 0.0
10	奈良	高値 14.0 安値 8.0		高値 5.0 安値 0.0		高値 8.0 安値 2.0		高値 2.0 安値 0.0		高値 100.0 安値 65.0		高値 80.0 安値 40.0		高値 230.0 安値 180.0		高値 5.0 安値 3.0		高値 2.0 安値 1.0		高値 4.0 安値 2.0		高値 安値 0.0	1.0 0.0
11	鳥取	高値 12.0 安値	不変	高値 3.4 安値	不変	高値 安値		高値 0.5 安値	不変	高値 安値		高値 45.0 安値	不変	高値 140.0 安値	不変	高値 4.0 安値 2.0		高値 2.0 安値 ▲3.0		高値 2.0 安値 1.0		高値 安値 0.0	
12	岡山	高値 15.0 安値 14.0	不変	高値 8.0 安値 7.0	不変	高値 11.0 安値 10.0	増	高値 2.0 安値 1.0	増	高値 105.0 安値 100.0	増	高値 70.0 安値 60.0	増	高値 260.0 安値 250.0	不変	高値 6.0 安値 4.0	不変	高値 4.0 安値 2.0	不変	高値 4.0 安値 2.0	不変	高値 ▲5.0 安値 ▲5.0	不変
13	徳島	高値 9.0 安値 7.0	減	高値 5.0 安値 0.0	減	高値 5.0 安値 0.0	不変	高値 0.0 安値 0.0	不変	高値 110.0 安値 79.0		高値 94.0 安値 68.0		高値 272.0 安値 197.0		高値 安値 3.0		高値 安値 0.0		高値 安値 2.0		高値 安値 ▲10.0	
14	熊本	高値 9.0 安値 8.5	増	高値 安値 ▲3.0	不変	高値 13.0 安値 11.6	不変	高値 安値 ▲3.0	不変	高値 90.0 安値	不変	高値 70.0 安値 60.0	不変	高値 230.0 安値 220.0	減	高値 6.5 安値 4.5	不変	高値 3.0 安値 2.5	不変	高値 5.0 安値 2.5	減	高値 ▲5.0 安値 ▲20.0	減
平均値		12.6		5.0		10.1		2.2		101.8		75.2		249.2		6.0		3.5		5.6		0.3	
		}				}				}						}				}		}	
		10.0		2.1		6.2		▲0.1		84.9		57.8		226.5		4.2		1.8		3.5		▲4.1	

業界の実態把握に

日資連アンケートにご協力を

プロジェクトNは、経産省に日資連の実情を説明し、本省認可取得のための助言を得るために、先の総会で承認を受けた二つのアンケートを全会員を対象に実施している。日資連事業者実態調査は、会員の事業の規模や業態を調査するもので、平成六年にはほぼ同様の調査が行われている。その後長い間、日資連全体で

は、この様な調査が行われていないために組合員の事業規模・取扱品目や数量といった基礎データを日資連としては把握していない。より正確な実態を把握するために高い回答率を望んでいる。また、この十年間でどの様な変化があったのだろうか。バブル崩壊後の様に循環型社会形成推進基本法により、改めて再

生資源が廃棄物の範疇に位置付けられ、決して納得はしていないが、相前後して施行された様々なリサイクル法が我々回収業者に与えた影響がどの様に現れるのだろうか。専門家に限らずアンケートには、再生資源を取り扱う我々が、廃棄物業者にどの様な理由で契約上利益を受けているかを調査するもの。また、その解

決策も調査することにより、これからの日資連が重点的に取り組むべき項目の洗い出しの手掛かりとなる。また日頃、直接日資連に出向く事ができない多くの組合員の生の意見、生の声を届ける数少ない機会と受け止めて頂きたい。繰り返すが、両アンケートとも重要である事を認

識された上で是非、回答される事を望む。さて、回答例を基に回答上の注意点を何点か説明しておこう(不明な点など質問は日資連事務局まで)。

*日資連事業者実態調査について
①回答の送り先は貴社の所属している単協へ。締切りは各単協による。
②取扱品目・数量の項目中の廃棄物は主なる二品目までの品目名を記入の上で数量を答える事。数量などはおおよその量で良い。
③所有資格は所有する全ての資格を○で囲む事。

回答送り先 日資連 FAX 03-3263-9102

日資連事業者実態調査

(2004年6月実施)

所属組合/連合会名: 支部/地域組合名:
貴社名: 代表者:
住所: FAX:
電話: HPアドレス:
Eメールアドレス:

1. 業種調査 (該当項目を○で囲んで下さい)

①業態: A回収業 B建場(寄場) C問屋(代直納) Dその他(業)
②所有資格: A産廃: 収集運搬 B産廃: 中間処理・最終処分 C一般: 収集運搬
D一般: 中間処理・最終処分 E古物商 F再生事業者登録 G青ナンバー

2. 事業規模

①所属組合/連合会の地域内にある事業所数 ①合計(1ヶ所)
②その敷地面積 ②合計(1800㎡)
③従事者 (店主、パート、アルバイト等給与支払対象者全員)
A従業員 (男3人) (女1人) ③A合計(4人)
B回収人・買出人・持ち交、専門持込業者等 (男1人) (女1人) ③B合計(人)
④車両・設備
A軽トラ(台) 中型トラ(4台) 大型(台) ④A(5台)
その内の特殊トラック(ダンプ、パッカー、ユニック等)(台)
Bその他の特殊車: (クレーン、クランプ、バケット等) ④B(1台)
C設備: 台費(台) 古紙プレス(台) 鉄屑プレス(台) ④AB合計(台)
ギロチン(台) ジャーリング(台) ④C合計(3台)
その他(設備名アルミ缶プレス1台)
D日資連のホームページを見ることが (できる) (できない)

3. 取扱品目・数量 (月当たり平均量をトン数で書いて下さい。生塩は一本800gで換算して下さい)

①専ら物 A鉄屑(20t) B非鉄・特金(20t) C古紙(20t) ①合計(260t)
D古繊維(t) E生塩(t) Fカレット(t) ②合計(5t)
②その他資源物 Aプラスチック類(5t) Bその他(品名) (t)
その内日資連加盟者からの買受量(t)
③廃棄物 (品目鉄屑24.2t) (品目) (t) ③合計(20t)

4. 集団回収 (組合又は支部事業として実施している分は除く)

①実施している団体数(45団体) ②回収した資源総量(70t/月)

5. 行政回収

①行政回収品を受入れて (いる) (ない)
②行政の回収業務を委託されて (いる) (ない)

=ご協力ありがとうございました=

回答の送り先は貴社の所属組合、FAX () です

日資連

専ら物に関するアンケート

【アンケート主旨】 今後、経済産業省との折衝で日資連の主たる取扱品目である「専ら物」についての問題点を整理し、基礎資料とするため。

【対象者】 全組合員

所属組合名: 東資協 (必ず記入してください) 所有資格 (一産・産廃・再生事業者登録・なし) 所有資格に○をつける。

専ら物の取扱割合 古紙 70% びん 0%
金属類 25% 古布 5%

名前: 山田 一郎 (差支えなければ記入ください)

設問 1. 契約できない、断られた時の顧客の理由: あなたが仕事を断られた(断られるかも)時の取引先の云った理由について答えてください。

記入方法: (1)○印...今までに問題になったり、現に断られた事がある場合
(2)△印...断られるおそれがあると思っている場合
(3)×印...経験がない場合

扱う品目	顧客が断る理由	顧客が断る理由									
		廃棄物会社1社にしたい	人手が無く分別できない	保管場所が狭く分別できない	廃掃法違反と認識	マニフェスト伝票が欲しい	逆有償は廃棄物である	資源化されるルールが不安	リサイクル化証明書ではだめ	不明	その他(理由)
①専ら物		○	×	△	△	○	○	×	×	×	
②専ら物と少量の廃棄物		○	○	×	○	○	○	○	○	○	法人で無くてもはだめとされた。
③複合物		○	○	×	○	○	○	×	○	○	

※注 ①専ら物: 顧客からの排出物のうち専ら物だけを引き取る場合。
②専ら物と少量の廃棄物: 専ら物を引き取る時に少量の廃棄物が混入している場合。
③複合物: 無選別品、たとえば古紙類の手入れ物、非鉄類のこわし物+廃棄物が含まれたもの(パインダーに綴じたままの書類、背や座にビニール類がついた事務椅子等)

設問 2. 解決策: 断られた又は断られそうの場合、あなたはどんな方法を講じますか?

記入方法: (1)○印...現に講じた解決した場合 (3)△印...解決策を講じたが断られた場合
(2)○印...これから講じようと考えている場合 (4)×印...経験がない場合

扱う品目	あなたの行った解決策	あなたの行った解決策							
		回収頻度の増加	顧客先に選別人員を派遣	無許可で廃棄物として回収	問屋及びメーカーの受入証明	リサイクル化証明書の発行	廃棄物の資格取得	専ら物の説明をする	何もしない
①専ら物		○	×	×	○	○	×	○	×
②専ら物と少量の廃棄物		×	×	△	×	○	○	△	○
③複合物		×	×	△	×	○	○	△	×

回答送り先 日資連 FAX:03-3263-9102

ご協力ありがとうございました。

抜取問題対策協議会
会長 上田 雄健殿

センター 16 本第 23 号
平成 16 年 5 月 18 日

財団法人古紙再生促進センター
理事長 寺澤道夫

「抜取問題対策協議会」発足の意義と期待について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
当センターの事業運営につきましては、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、古紙の回収と流通の両業界において先導的な役割を担われている関東製紙原料直納商工組合と関東資源回収組合連合会が連携し、社会問題化している抜き取り問題へ対応するために本年 2 月 12 日に「抜取問題対策協議会」を発足されたことは、まことに時宜を得たものであり、ここに敬意を表するとともにこれからの取り組みに大いに期待いたします。
ご承知のように我が国の紙リサイクルにつきましては、古紙の需要と供給がバランスよくほぼ毎年右肩上がりで拡大してきたことにより、今日では世界トップクラスの紙リサイクル先進国になっています。中でも効率的な回収システムの導入等を進めながら、回収・流通現場の秩序を維持し、拡大する古紙需要に見合う古紙供給を担われた回収業界と流通業界が果たされた功績はまことに大きなものがあり、このことが我が国の紙リサイクルの健全な発展を供給面で支えてきたといっても過言ではありません。

近年、循環型経済社会の構築に向けて古紙を取り巻く環境や構造に変化が見られる中、家庭からの古紙回収方法も多様化し、地方自治体との関わりが増大、行政回収の拡大等から新聞古紙などの抜き取り行為といった新たな問題がクローズアップされるようになってきました。

抜き取り行為につきましては、行政回収のみならず当センターも積極的にその推進を図ってきた集団回収においても同様の問題が発生しており、次のような理由から憂慮すべき事態であり、排除すべき行為であると認識しております。

- 1) 行政回収は、各市町村においてそれぞれの実情を勘案したうえで種々の検討、審議を経て必要な処置として位置づけられ、実施されているものと理解しております。
- 2) 行政、住民、回収・流通業者等関係者の連携のもとに、ルールを定めて実施されている行政回収に出された古紙を当事者以外の者が抜き取る行為は許されるものではなく、定められたルールは尊重し遵守されるべきものと認しております。
- 3) 子供会、町内会、PTA 等の住民の皆さんが、紙リサイクル等に対する理解とボランティア精神のもとで取り組んでこられている集団回収の古紙に対する抜き取り行為については、
①特定の回収業者等に有価物として引き渡すことが前提となる集団回収では、指定場所に出された古紙の所有権は回収業者等に引き渡すまでは住民団体側に存在すると判断でき、この場合の抜き取り行為は犯罪になる可能性が大きいように思われます。
②ごみ問題やリサイクルの必要性等、環境対策に対する理解を深める実践の場でもある集団回収において抜き取り行為が横行することになれば、純真な子供たちの気持ちを踏みにじるばかりでなく、住民の回収意欲を減退させ、更には効率的な古紙回収システムとして極めて重要な役割を担っている集団回収そのものに悪影響を及ぼすことが懸念されます。
等から、あつてはならないことと認しております。

以上の観点から、当センターといたしましては、貴協議会の発足趣旨に賛同するとともに、その取り組みを見守り、必要場合は微力ながら可能な限り応援させていただき所存であり、最後に貴協議会の活動が大いに啓蒙され、抜き取り行為がなくなることを祈念いたします。

敬具

古紙センターが公式見解 抜き取り問題対策協会の求めで

財団法人古紙再生促進センター(古紙センター)より、行政回収からの古紙の抜き取り行為に対する見解とも言える公式文書が出された。(別掲)

この文書は、一般紙に掲載された行政回収からの古紙の抜き取り行為に対する古紙センターのコメントによる。何と抜き取り行為を容認するかのようなコメントだったのだ。日産連は

と、四月三十日に「古紙抜き取り問題に対する見解」に対する要望書を提出した。記者の理解の不足により意図と違うものが掲載されたとの担当より回答が寄せられた。

関東商組、関東連「抜き取り問題対策協議会」(上田雄健会長)では、この機会に古紙センターの抜き取り問題に対する公式の見解を求めること

とし、四月三十日に「古紙抜き取り問題に対する見解」に対する要望書を提出した。記者の理解の不足により意図と違うものが掲載されたとの担当より回答が寄せられた。

「古紙抜き取り問題に対する見解」を、理事長名で表明して頂き、業界の信用を失墜させ、大多数の地域回収業者を苦しめている抜き取り業者の行為に断固反対し、古紙流通

一点は勿論、行政回収からの古紙の抜き取り行為を完全に否定したことと、その排除に際して(文中より)を約束したこと。これにより、集・直として製紙メーカーのいわゆる古紙の流通上のすべての段階での業者団体が今後、抜き取り行為に反対することが表明されたこと。

中国の紙・板紙生産は三、七六〇万トンと米国の紙の恒常的な販路が形成されている。中国では現在、米国内から年間四〇〇万トンの原料古紙を輸入しているが、日本からも年間一〇〇万トン程度が輸出されている。急速な需要拡大と国内での余剰という点で双方の利害が一致した結果の輸出拡大だが、輸出量の推移を見る限り、

中国 古紙輸出100万トン規模に 急速な経済成長に期待高まる

この期待に真摯な対応で答えたいことが求められている。我々には、片岡 繁

2004年1～5月の主要三國向け古紙輸出量及び全体の輸出量

国別	全 体						中 国					
	合計	段ボール	化学パルプから製造された紙・板紙	新聞	雑誌その他	その他(古紙・地盤・ボール)	合計	段ボール	化学パルプから製造された紙・板紙	新聞	雑誌その他	その他(古紙・地盤・ボール)
2003暦年計	1,970,607	885,606	18,973	365,286	422,512	278,230	1,014,196	244,126	8,577	288,267	301,416	171,810
2004年1月	155,663	68,020	667	37,246	29,903	19,827	80,914	17,539	667	31,892	19,333	11,483
2月	179,779	72,366	1,467	45,246	36,409	24,291	108,083	19,472	1,384	41,621	27,871	17,735
3月	241,150	92,477	1,597	56,980	58,375	31,721	148,465	27,800	250	47,974	50,129	22,312
4月	232,087	84,458	2,585	49,462	63,626	31,956	135,295	28,073	1,659	36,839	48,523	20,201
5月	287,885	94,827	1,368	79,344	73,847	38,499	202,184	45,281	762	68,140	60,855	27,146
2004年1～5月計	1,096,564	412,148	7,684	268,278	262,160	146,294	468,230	138,165	4,722	226,466	206,711	98,877

国別	タ イ						台 湾					
	合計	段ボール	化学パルプから製造された紙・板紙	新聞	雑誌その他	その他(古紙・地盤・ボール)	合計	段ボール	化学パルプから製造された紙・板紙	新聞	雑誌その他	その他(古紙・地盤・ボール)
2003暦年計	465,562	416,986	3,904	4,823	11,238	28,611	291,827	172,279	2,522	20,062	46,759	50,205
2004年1月	41,491	38,960	0	106	0	2,425	16,645	9,911	0	0	3,930	2,804
2月	38,823	37,185	0	0	0	1,638	20,062	14,978	0	288	2,361	2,435
3月	56,992	51,590	149	507	312	4,434	14,659	10,206	0	1,366	1,457	1,630
4月	43,817	40,450	0	0	581	2,786	24,302	12,546	139	4,787	4,590	2,240
5月	29,620	27,446	0	0	0	2,174	26,716	13,629	152	2,396	6,779	3,760
2004年1～5月計	210,743	195,631	149	613	893	13,457	102,384	61,270	291	8,837	19,117	12,869

ルへと伸び、さらに二〇〇年から二〇一〇年の二十年間の目標成長率は七％と日本に迫りつつある。唯一の問題としては、日本と異なる政治形態で、民主化を先送りしたまま経済成長がどこまで持続するか、中国経済の今後の動向が注目される。

二〇〇八年の北京オリンピック、二〇一〇年の万博と経済発展の要素が続くなか、中国経済の今後の動向が注目される。

青年部 16年度総会を開催 意思の疎通図り組織力強化を

日資連青年部は五月十五日(土)に東京都千代田区にある「霞山会館」にて総会を開催した。

総会は神奈川の魚地氏の司会により開会、本総会が委任状出席も含め定数を満たした事により有効に成立する旨が報告された。

続いて松本青年部長よりお忙しい中の多数の出席に対する感謝の辞と、青年部総会後にとりおこなわれる日資連総会に対する青年部の協力、経済産業省産業技術環境局リサイクル推進課長の井内撰男先生の講演への参加を確認した。

議長は選出については満場一致を持って栃木の中島氏が議長に選任され、議案の審議に入った。

議長の選出については満場一致を持って栃木の中島氏が議長に選任され、議案の審議に入った。

△第一号議案 平成十五年活動報告および決算関係書類承認の件(要約) 十五年の活動として毎月一回の部長会を前年度に引き続き開催、情報共有化と青年部間のネットワークの強化を行ってきた。今年には日資連事務所の開催にともなわず、九月には茨城、一月には栃木での出張部長会を開催、より広く交流を図った。

また、青年部が進めてきた「日資連ホームページ」のリニューアルが完了し、今後の日資連の情報発信基地としての準備が整った。

共有化を目指していきま

また、現在日資連が行なっているプロジェクト「Nの実行部隊」として臨機応変に動けるよう活動していきま

△第二号議案 平成十六年活動計画案および予算案決定の件(要約) 十六年度の活動計画としては、毎月一回の部長会を継続して行い、青年部間の意思の疎通の強化を図っていきま

日資連青年部 新役員	
青年部長 松本 貞行 (東京)	【東北ブロック長】
副部長 高橋 修市 (岩手)	【関東ブロック長】
川島 泰次 (神奈川)	【西日本ブロック長】
幹事 今柳 剛 (奈良)	【東北ブロック】
武田 孝一 (秋田)	〃
日田 徹 (山形)	〃
山口 功記 (福島)	〃
逸見 力 (宮城)	〃
吉岡 努 (群馬)	【関東ブロック】
中島 昇 (栃木)	〃
斎藤 大介 (千葉)	〃
岩窪 宏明 (東京)	〃
魚地 浩司 (神奈川)	〃
小澤 晃 (岐阜)	【西日本ブロック】
尾上 学 (大阪)	〃
奥田 貴光 (奈良)	〃
相談役 高野 昌明 (千葉)	
太田原 充 (千葉)	
片岡 繁 (東京)	
会計 林 直樹 (東京)	
監査 片桐 伸也 (群馬)	
入江真太郎 (大阪)	

但し、各組合で部長等の変更があった場合は適宜変更するものとする。

関東資源回収組合連合会の古紙委員会

関東資源回収組合連合会の古紙委員会では古紙を巡るさまざまな問題から、関東圏内の古紙回収屋を対象にアンケート調査を行う。内容はまだ公表されてはいないが、調査結果が次第、アースレック及び日資連ホームページにて発表していく予定である。次号アースレックにて詳しく掲載の予定。お楽しみに。

★ホームページにて組合情報公開中★

日資連 HP アドレス <http://www.nisshiren.com>

日資連の最新情報公開システムが始まりました
組合員専用ページを閲覧するにはパスワード入力が必要です
パスワード等のお問い合わせは事務局 (03-3263-9101) まで

パスワードは組合員の財産です

お取り扱いには充分ご注意ください 致します

【編集後記】

私も日資連の理事なので日資連の事務所に行く機会が多いほうだと思っていたが、先日午後一時からの会議、続いて五時

からの会議に出席するという理事と出席した。聞いてみると四日前にも会議を開催したという。そんなに決まなきゃならないことがあるのかと聞いたら、山ほどあって毎日会議をやりたいくらいだとメンバーの一人。

電話やメールなどでのやり取りを行ったうえで、最後の詰めや振り合わせはやはり会議だよ。よくよく聞いてみると七月中旬に日資連の事務所での七回会議予定を持つ者までいた。心の中で頑張れよと叫びたが私もその中のひとり。

日資連のために何の見返りも求めずがんばるメンバーに、組織改革が動き始めた事を思い知らされた。

神奈川県資源回収商業協同組合

理事長 小松 敏和

〒220-0023 神奈川県横浜市西区平沼 1-40-17
モンテベルデ 横浜 311号室
TEL 045(313)6100・FAX 045(313)6161

奈良県資源回収事業協同組合

理事長 吉田 勝重

〒635-0021 奈良県大和高田市池尻 82-1
TEL 0745(52)5824・FAX 0745(53)3533

栃木県リサイクル協同組合連合会

会長 谷中 勝典

〒321-0345 栃木県宇都宮市大谷町 257
TEL 028(652)0245・FAX 028(652)0736

東京都資源回収事業協同組合

理事長 新井 英一

〒220-0023 東京都千代田区三崎町 2-21-1
TEL 03(3263)3676・FAX 03(3263)3679

大阪府再生資源事業協同組合

理事長 入江 金男

〒567-0865 大阪府茨木市横江 2-9-45
TEL 0726(30)6730・FAX 0726(30)6731

広告求む!

千葉県資源リサイクル事業協同組合連合会

会長 大塚 勝彦

〒260-0015 千葉県千葉市中央区富士見 2-22-6
富士ビル 5階A号室
TEL 043(227)8273・FAX 043(227)2033

岡山再生資源事業協同組合

理事長 佐藤 章夫

〒700-0026 岡山県岡山市豊成 3-14-20
TEL 086(902)0011・FAX 086(902)0140

埼玉県再生資源事業協同組合

理事長 細田 益弘

〒338-0826 埼玉県さいたま市桜区大久保領家 343-7
TEL 048(852)9048・FAX 048(852)9075